事業所名　　**放課後等デイサービス　ピュアほーぷ　　支援プログラム**　　令和８ 年　　５ 月　　１５ 日

法人（事業所）理念		障がい等「生きづらさ」を抱えた人が、自信と誇りをもって、地域の中で、社会の一員として豊かな人生を生きられるように、活動や体験の場を提供し、その成長を支援していく。
支援方針		○運動活動 運動を通して、体を動かすことの楽しさや目的を持った活動をすることで達成感や自信を持てるよう支援する。 ○作業支援 作業を通して、仲間と協同で取組む事によって協調性・互いを尊重し合う心を養い、困った時の相談の方法を学ぶ等、働くために必要な力を身につけるよう支援する。 ○集団活動 集団での活動を通して、人との関わり方・楽しみ方・順番や物の共有などの練習をして楽しみながら集団での行動になれる。 ○地域交流活動 地域社会の一員として活動・貢献・関与する「共生社会」の実現を目指す取り組み。
営業時間		【平日】　放課後　から　１８時００分　まで 【長期休暇】　８時３０分　から　１７時３０分　まで　送迎実施の有無　（あり）　なし
		支　援　内　容
本人支援	健康・生活	○健康状態の把握 ・来所してからの手洗いの徹底を心掛け感染症予防に努める。 ・自らの体調について意識付けを行い健康な心と体を育て自ら健康で安全な生活を作り出す事を支援する。 ・普段の様子と変化が見られた時にはすぐに様子を確認して検温や休憩を促す。 ○健康の増進 ・集団活動においてラジオ体操などの基礎運動を取り入れ、体力の維持および運動能力の向上を支援する。 ・健康生活の基本となる体づくりを行う。 地域の資源を生かし、体を動かす活動（体力作り）プログラムを継続的に取り入れる。 ○基本生活スキルの獲得 ・個別活動の中で、整理整頓（片づけ）の習慣をつけるための時間を確保する。 ・身の回りを整理して、効率の良い生活を送るために必要な基本的技能を獲得できるよう支援を行う。 ○構造化により生活環境を整える： ・個別活動および集団活動等の中で、さまざまな遊びを通して全体の状況や流れを学習できるよう環境を整える支援を行う。 ・障がい特性に合わせ、タイミングや状況（全体像）を本人が理解できるよう「見える化」するなど分かりやすく構造化する。
	運動・感覚	○姿勢と運動・動作の基本的技能の向上 ・日常生活に必要な動作の基本となる姿勢保持や、運動・動作の改善および習得、筋力の維持・強化を図る。 ・個別活動の中で、椅子や机を用いた支援において正しい姿勢の習得。 ○感覚の補助及び代行手段の活用 ・保有する感覚器官を用いて状況を把握しやすいようにメガネなどの各種の補助機器を安全に効果的に活用できるよう支援を行う。 ○保有する感覚の活用 ・保有する視覚、聴覚、触覚などの感覚を十分に活用できるよう、遊具や器具を使った遊びなどを通して支援を行う。 また、地域資源である公園での遊びを生かし、より幅広く経験に繋げていく。 ・ボールを使った体の動かし方や強弱の力感覚、方向感覚の習得。 ・楽しく運動ができるよう、状況（屋内・屋外・広さ・安全の確保）に合わせた道具や方法を用いて支援を行う。
	認知・行動	○感覚や認知の活用 ・障がい特性に応じた、視覚、聴覚、触覚などの感覚を十分に活用して必要な情報を収集しやすいよう、色、音、絵や文字、道具を用いて、 認知機能の発達を促す支援を行う。 ○知覚から行動への認知過程の発達 ・集団活動やグループ活動支援の中で、活動内容（環境）から情報を取得しやすいよう絵カードやルール表を用いて「見える化」するなど、 必要なメッセージを自ら選択し、行動につなげられるよう一連の認知過程の発達を支援する。 ○数量、大小、色等の習得 ・数量の予測、大小の選択、色の認知など作品完成までの流れに関する行動や手掛かりとして活用できるよう、 ・折り紙や色画用紙を用いて制作を取り入れながら支援する。また、カプラや積み木などを用いて特性に合わせた支援を行う。 ○認知の偏りへの対応 ・認知の特性を踏まえ、絵カードやスケジュール表などを用いて自分に入ってくる情報を適切に処理し、 ・自ら選択して安全に正しく行動できるよう支援し、認知の偏りなどひとりひとりの特性に配慮する。
	言語 コミュニケーション	○言語の形成と活用 ・集団活動の中で「子ども会議」などを行い、議題にそった発表の機会を設ける。 ・これにより具体的な体験や言葉の意味を結びつけるなどにより、体系的な言語の習得、自発的な発言を促す支援を行う。 ・また、子ども会議などの場面で自分の考えを伝えたり人の意見を聞き入れて相手の意図を理解するなど、人との相互作用によるコミュニケーション能力の獲得を目指す。 ○読み書き能力の向上のための支援 ・また、文字カードやカルタなどの教材、知育玩具を用いてひとりひとりの能力に合った読みの向上を目指す支援を行う。 ・コミュニケーション機器（道具）の活用： ・集団活動やグループ活動の中で、遊びを通して対児童、対大人との意思の伝達が円滑にできるよう支援を行う。
	人間関係 社会性	○アタッチメントの形成 ・話す、聞く、触れるなどのコミュニケーションを通して、人との関係を意識し、身近な人との関係を築き、その信頼関係を基盤として、周囲の人と安定した関係を形成するための支援を行う。 ○自己の理解とコントロールのための支援 ・職員は児童生徒の特性を理解し、ひとりひとりに合わせた声掛け支援、行動支援を行い、自分の出来る事と出来ない事など自分の行動の特徴を理解し、気持ちや感情の調整ができるように支援する。 ○集団への参加への支援 ・個別活動からグループ活動へ順に進め、ひとりひとりの状況や状態に合わせて集団活動への参加を促す。 ・また、受け入れる側（集団）の児童に対して、相手の気持ちや状況などを理解するための話し合いや声掛け支援を行い、安心して集団へ参加できるよう、また参加する方法の習得を支援する。 ・図書館や買い物活動への参加をすることで社会性を身に付ける経験をする。 ・活動後の良い所探しで他者の良いところを見つける・考える・伝える練習。また、同年代に褒められる・嬉しいことを言われることで、自分の長所として意識し、自信を持てるようにする。 ○生活スキルの獲得に向けた活動 ・挨拶や話の聞き方、姿勢など普段の生活に必要なスキルの獲得を目指した活動

家族支援	・モニタリング・面談を行い、様子の共有や課題の見直し支援方針の共有、および情報交換を行います。 ・連絡ノートにて日々の様子や取り組みを共有します。 ・ご家族の子育てに関する困りごとに対する相談援助（ご兄弟を含む）を行います。	移行支援	・生活に必要な力を身に付けられるよう、支援を行います。 ・学校・家庭と連携をしながら個々に合わせた自立へ向けた支援を行います。 ・小学校、中学校、高校への情報提供を通した切れ目ない支援を行います。 ・レスパイト確保や預かりニーズに対する延長支援
地域支援・地域連携	・学校や他事業所との連携を行います。 ・見学の随時受け入れ・情報提供などを行います。 ・地域（青葉台・陽光台）イベントに参加します。	職員の質の向上	・外部研修 ・施設内研修 ・虐待防止・身体拘束適正化委員会の実施
主な行事等	○法人会員活動 ・越後丘陵公園リレーマラソン大会参加 ・海水浴 ・ピュアはーとぷちライブ参加（会場：越後丘陵公園） ○季節行事（新年を祝う会、節分、ひなまつり、お花見散歩、七夕、水遊び、ハロウィーン、クリスマスなど）		